

教員コラム

専任講師 佐藤 裕子

日本は、世界でも最も高齢化が進んでいる国と言われている。超高齢社会といっても、実は元気な高齢者がほとんどで、介護を必要とされている高齢者は全体の二割程度といわれています。

皆さんは「介護」と聞くと「動くことができない人のお世話をする」といった様子を思い浮かべると思います。もちろん介護を必要とされている人の中には、ご自分で体を動かすことが難しい人たちもいらっしゃいます。でも「自分のことは自分でやりたい」と思われている人の気持ちや、その人に代わって感じたり伝えたり、思い出を記録に残したりすること…これも「介護」です。

短大では、「その人たちの困りごとや好きなこと」「したいと思っていること」を引き出す「コミュニケーション技術や、その人にとって動きやすいお部屋づくりの支援方法、季節の行事についての知識などを学びます。体力勝負と思われるがちな「介護福祉士」ですが、私たちの生活にとても近いものだと知ってほしいです。



【おせち料理】介護総合演習の授業にて行事食を学びました。

担当授業紹介・保育内容総論

専任講師 藤原 牧子

「保育内容総論」では、幼稚園や保育所等の園生活全体を視野に入れて、総合的に指導するという乳幼児教育における援助の考え方や指導計画の考え方を学んでいます。

子どもの遊びや活動は全体として見るのが大切であり、保育者養成課程の中で学ぶ五領域はそれぞれが独立したのではなく、実はつながり合い絡み合っていることを理解していきます。授業としては、保育構想を練り、具体的な指導案作成を経て模擬保育を行います。模擬保育では、五領域の視点から子どもの育ちとして捉える力を養います。さらに模擬保育の振り返り・評価を通して、指導案を改善するという一連の流れを経験する中で、子どもの遊びや活動を構築する力を養っていきます。



【写真上】ダンボールを丸めてスタンプを作りました。

【写真下】ダンボールスタンプに絵の具を付けて、クリスマスリースを作りました。

